



# いわて生協は、協同の力で 支援活動を続けています。

◆4~6月のおもな支援活動◆

## なり わい 生業をささえ、心をつないで!

### 「真崎わかめ」新加工場落成&産直40周年!

田老町漁協では、震災後は仮設加工場で「産直真崎わかめ」などを製造していましたが、今年5月に念願の本設加工場が完成。産直40周年と合わせて「祝う会」を開催しました。「産直真崎わかめ」のおいしさと利用をさらに広げ、田老の再建を応援しましょう。



6/18に開催し、生産者・組合員・常勤者計71人が参加。組合員らが「お魚天国」の替え歌で「真崎わかめ応援歌」を披露。



4/3のバスボランティアは田老町漁協へ。新物真崎わかめの箱詰め作業を手伝いました。



「産直収穫祭(店舗年4回、共同購入年3回)」で、利用を広げています。

### 沿岸の商品を利用し、復興を支援!



ベルフ牧野林(5/23・24)、ベルフ八幡平(6/13・14)で「復興支援 地産地消フェスタ」を開催し、2会場合わせて沿岸からののべ35社を含むのべ105社・団体が出店。のべ3万3千人が来場し、たくさんの利用がありました。また、今年は共同購入でも(7日5週「あい・ぱーく」で)地産地消フェスタで人気の14社・18品をご案内しています。

### 「コープこうべ」からネクタイ1,225本!



ネクタイが入った箱が3個、いわて生協に到着(6/2)。

「被災者グループなどの『ネクタイのアクセサリ・小物づくり』に使って」と、コープこうべの職員が集めたネクタイ1,225本が届きました。完成した小物は、コープこうべのイベントなどで販売されます。



ネックレスやポシェットなどにリメイクされます。

今年度の  
東日本大震災  
支援募金  
**236万4,512円**  
(6月20日現在)

#### 今年度の「復興支援基金」活用状況 (6月20日現在)

被災地でのふれあいサロン	300万7,581円
グループ活動補助	46万5,567円
リフレッシュツアーバス代	77万2,361円
バスボランティア	70万666円
計	494万6,175円

みなさんの募金が支援活動を支えます。ぜひご協力をお願いします。



# いわて生協は、協同の力で 支援活動を続けています。

◆ 7月～11月のおもな支援活動 ◆

## 心をつないで、くらしを応援!

### 第5回 宮古復興応援生協まつりで笑顔&元気!



今年も全国10生協が特別出店し、恒例となった関西3生協のたこ焼きやコープえひめのみかんなどが大人気でした。また、売り上げ金66万円が支援募金として寄せられました。

11月3日、被災地域や被災メーカーの復興を願い、みんなが元気になれるようにと、宮古市と沿岸広域振興局の後援のもと、マリンコープドラにて開催。5回目の今年は、全体で50団体が出店し、9,000人が来場。出店者にも来場者にも大いに喜ばれました。



沿岸広域振興局宮古管内からは10団体が出店し、前年を上回る売り上げに。初出店の三陸王国イカ王子(共和水産)では塩辛類が好評でした。

### 要望に応え、「にこちゃん号」の 販売場所を11か所増やしました!



移動店舗「にこちゃん号」は、宮古、釜石・大槌、陸前高田、大船渡地域で全4台運行し、毎日約260人が利用しています。陸前高田、大船渡地域の2台が7月20日から、災害公営住宅など11か所を新たに追加した6コース35か所を、週2回訪問しています。

### クリスマスカード つくったよ!



コープー関コルザの「復興支援・地産地消フェスタ」の会場でも、子どもたちが一生懸命作りました。

「忘れないよ。いっしょにがんばろう!」の思いを込めて、手作りのクリスマスカードを贈る取り組み。今年は3400枚が集まり、12月上旬、仮設住宅に住む組合員さんなどに菓子を添えてお届けしました。

2015年度の  
東日本大震災支援募金  
**818万500円**  
(11月20日現在)

みなさんの募金が  
支援活動を支えます。  
ぜひご協力をお願いします。

#### 2015年度の「復興支援基金」活用状況

被災地でのふれあいサロン	719万6,555円
リフレッシュツアーバス代	208万4,029円
バスボランティア	138万2,124円
グループ活動補助	116万8,378円
その他(子どもたちへの支援など)	128万9,559円
計	1,312万 645円

(11月20日現在)